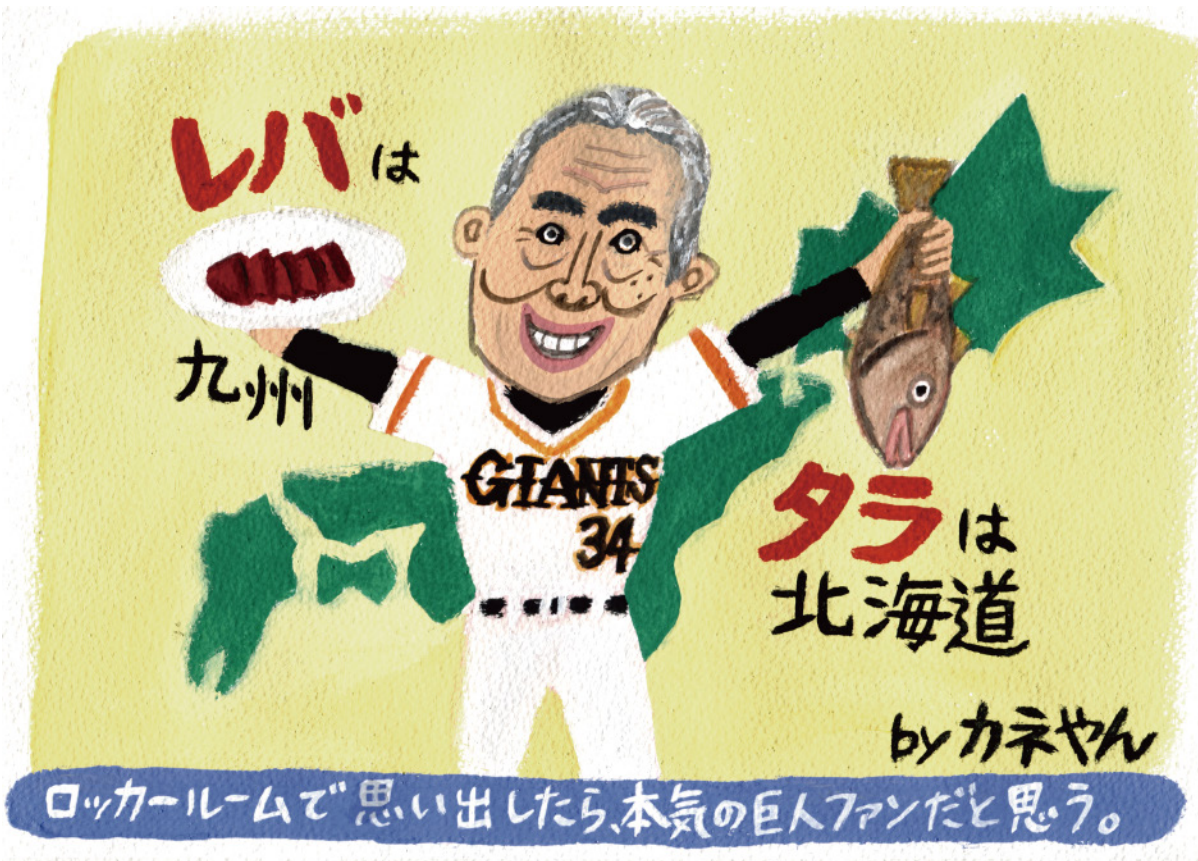


コトバカっ!



コトバカ 言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカるっ!

タラの魔法

星占いって面白い。気まぐれに何冊か雑誌を見てみると、それぞれが独自の「今月の運勢」を主張している。でも、外れたからって本気で怒る人はいない。いかに心地よく手癖を上げてくれるかが重要なのであり、人気占い師の文章は、あたるかどうか以前に味わい深い。

日本人のファンも多い「ジョナサン・ケイナーの星占い」は哲学的。さつきネットで「今週の予報」を見たところ、こう書いてあった。「あなたの心からマイナス思考を排除し、建設的な期待しか抱けなくなるまで、自分自身を訓練してください。そうしたら、驚くほどたくさんの方の建設的な出来事を、ほとんど魔法のように引き寄せられるようになるでしょう」。

要は「前向きに考えよう」とイコトっぽいあるよ」ってこと? 悪文すれすれの魔術師ぶりにしびれてしまうが、この中で気分を高揚させるキーワードは「そうしたら」。仮定を表す「たら」と「れば」のうち、必然の意味合いが強い文語的表現が「れば」で、偶然の意味合いが強い口語的表現が「たら」。上の文章に「それすれば」を使うと説教くさげな「それしたら」を使えば、ドラマチックな奇跡が起きそう!

最近、普通の文章にも「たら」をよく見かける。きっかけは2008年ごろ話題になった「試着室で思い出したら、本気の恋だと思っ」というルミネの広告かもしれない。「試着室で思い出せば、本気の恋だと思っ」と優等生風にまとめず、「たら」でロマンチックな魔法をかけた素敵なおピエだ。昨日は朝日新聞の一面にも「たら」を見つけた。「放射性物質が基準値以下であることを」確認したら、出荷される」という一文。「確認すれば、出荷される」なら素通りしたと思う。唐突な口語的表現に、その記事が非現実的なファンタジーみたいに思えた。

2014年、世の中のあるところから、美しい奇跡が起きますように。私は「今日という日は残りの人生の最初の日」という言葉が好き。そんな気持ちで毎日を過ごしたら、きっと、たくさんの方の夢が叶うだろう。

相川藍 (言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。